

## 来賓挨拶

皆はいさいぐすーよー ちゅーうがなびら

皆様、こんにちは。

「第31回海事・観光立国フォーラム in 沖縄 2023」が開催されるにあたり、御挨拶を申し上げます。

公益財団法人日本海事センター様におかれましては、「海洋基本法」が制定された平成19年の第1回海事立国フォーラム以降、毎年継続して本フォーラムを開催し、我が国の経済社会に必要な海事産業界の発展に貢献し続けられていることに対しまして、深く敬意を表します。

また、海洋島しょ圏として海洋政策を重要施策に位置づけるとともに、観光産業をリーディング産業としている沖縄県にとりまして、今回のフォーラムが海事分野だけでなく、観光分野にも焦点を当て、シンポジウムや講演が行われることは大変意義深いことであり、心より感謝申し上げます。

国内有数の広大な海域とともに、亜熱帯における多種多様な資源が存在する沖縄県にとって、「海洋」は県土全域の持続可能な発展を支える重要な領域であり、発展可能性を秘めた新たな産業分野として期待されます。

それと同時に、亜熱帯海洋性気候に属する沖縄県の青く美しい海は、マリンレジャーをはじめとする自然体験型観光など、多彩で付加価値の高い観光の推進に資する重要な観光資源であり、沖縄観光の振興に関する基本的な方向性を明らかにした第6次沖縄県観光振興基本計画では、沖縄ならではの自

然・歴史・文化を保全、活用した体験型観光を推進しつつ、社会・経済・環境の三側面においてバランスを取ることで「世界から選ばれる持続可能な観光地の形成」を目指すこととしています。

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響に加え、今般の燃油価格高騰等により、我が国の経済は引き続き厳しい環境にあります。沖縄県が海洋島しょ圏としての地域特性を十分に生かし、発展可能性を引き出すことは、沖縄県の振興・発展にとどまらず、我が国全体の発展に繋がり、国家戦略としても重要な意義を持つものと考えます。

沖縄県としましては、ブルーエコノミーを先導する地域として海洋政策を総合的に推進するとともに、沖縄県独自の豊かな自然環境を生かしたツーリズムの推進等により、リーディング産業である観光産業の復興と更なる発展に向けて取り組んでまいりたいと考えておりますので、公益財団法人日本海事センター様をはじめ、関係機関の皆様におかれましては、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本フォーラムの開催をお祝い申し上げるとともに、今日ここに御出席の皆様の御健勝と御発展を祈念し、御挨拶とさせていただきます。

いっぺーにふえーで一びる、ありがとうございました。